

水浸漬試験

水浸漬試験は、せん断試験体を室温(= 23)の水の中に10日間放置し、取り出してから23 の室内に3, 24, 48, 168時間放置した後、せん断強度と破断時の伸びを測定した。浸漬試験の値は、あらかじめ測定しておいた浸漬していない試験体のデータと比較をし、特性の変化を把握した。

目的としては、構造体へ取り付け後の浸水、湿気等によるISD111材の吸湿特性の確認、および、屋外曝露データの整合性の確認である。Fig33, 34が水浸漬試験の結果であるが、吸水による破断強度の低下、伸び量の変化はほとんど見られない。これにより、ISD111は湿度の影響はほとんど無いと言え、かつ、浸水のような状況でダンパーが水に漬かっても性能には影響が無い事が分かった。

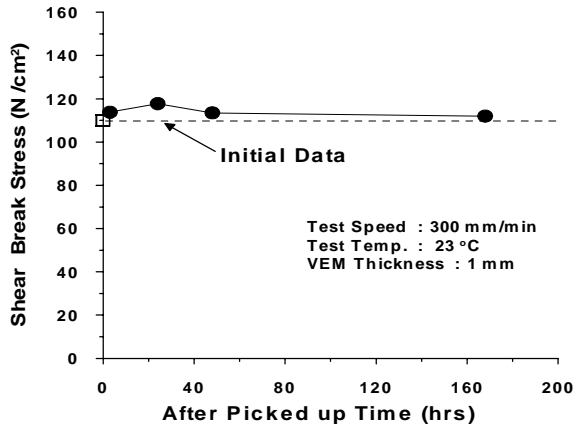


Fig33: Shear Break Stress after Picked up Samples from Water

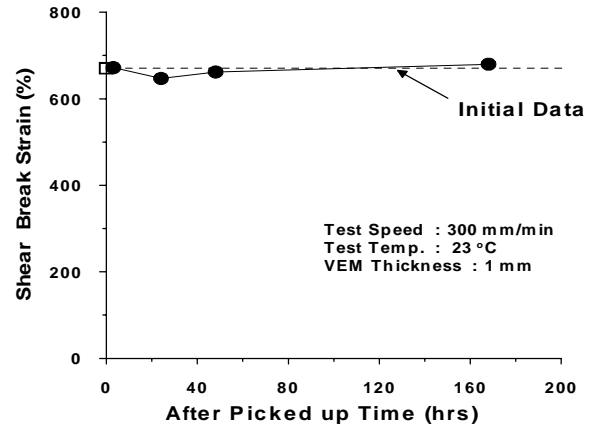


Fig34: Shear Break Strain after Picked up Samples from Water